

図る18年度予算編成

億8,134万円

水道会計 5億2,345万円

予算

3月定例議会

3月定例会は、3月2日に開会し3月30日に閉会しました。

今議会では、平成18年度の当初予算や平成17年度の補正予算などに関するものや、定住促進に関する条例の制定など条例に関するもの、総合振興計画など議案50件、及び職員の諸給与に関する条例の一部改正などの追加議案5件、また平成17年度の4月～6月旧町歳入歳出決算の認定についてなど認定案20件、専決処分事項の報告8件、鹿児島県大隅合同庁舎の存続に関する陳情書1件、道路整備の促進及び道路財源の確保等に関する意見書案など2件が審議されました。

一般会計の予算規模は、

成されています。

効果」が得られるよう編

り組むとともに、限られ

減意識を持って事業に取

却し、徹底したコスト削

務事業を実施することか

編成となりました。本年

町が合併し「曾於市」と

なり、初めての年間予算

可決

平成18年度当初予算
総額 358億8579万円

年間平均の被保険者数を

介護保険特別会計は、

です。

算総額71億1204万円

8526人と見込み、予

年間平均の被保険者数を

老人保健特別会計は、

ます。

48万3千円となってい

込み、予算総額50億94

数は2万1546人と見

は、年間平均の被保険者

国民健康保険特別会計

ります。

86億8100万円であ

00万円5・7%減の1

万円に対して、11億31

予算額198億1200

平成17年度旧3町の当初

345万1千円となりました。

9㎡、水道事業費5億2

日平均給水量1万140

戸数1万4229戸、1

水道事業会計は、給水

です。

額1億2072万5千円

槽整備推進事業で予算総

会計は、財部地区の浄化

生活排水処理事業特別

計は、予算総額4億39

24万7千円です。

公共下水道事業特別会

5千円です。

1万4186人と見込み、

予算総額39億1484万

旧3町の均衡ある発展を

一般会計 186億8,100万円

特別会計 166

緊縮型

平成18年度
予算審議

平成18年度 一般会計予算

186億8,100万円このように使われます

☆ 市民サービスのために	27億9,956万5千円
議会費	2億1,169万2千円
総務費	25億8,787万3千円
☆ 生きがいと健康のために	63億6,852万0千円
民生費	50億9,628万7千円
衛生費	12億7,223万3千円
☆ 豊かなくらしのために	19億5,694万3千円
労働費	468万7千円
農業水産業費	18億1,322万8千円
商工費	1億3,902万8千円
☆ くらしと安全のために	24億7,859万2千円
土木費	17億9,785万3千円
消防費	6億6,070万3千円
災害復旧費	2,003万6千円
☆ 文化と教養のために	16億1,417万2千円
教育費	16億1,417万2千円
☆ 返済のために	34億4,320万8千円
公債費	34億4,320万8千円
☆ 備えのために	2,000万円
予備費	2,000万円

一般会計

本年度の一般会計予算は、歳入では皆さんから納付していただく市税が、27億3789万9千円、2・0%の増となります。1人当たりの負担額は6万3千円となります。市

民1人当たりに使われる費用は43万円になります。この1人当たりの負担額と費用の差額は、地方交付税をはじめ国・県支出金、繰入金、市債などで補われます。

一方歳出では、主な事業として、総務管理費の市制施行一周年記念事業に307万7千円、市民祭開催経費776万円、

バイオマスタウン構想策定事業5億25万2千円、大隅町文化会館駐車場整備工事費8698万4千円、生活保護費6億6729万7千円、商工業費1億3902万8千円、道路橋梁費12億778万3千円、定住促進対策事業1719万1千円、財部駅前周辺整備事業709万8千円、小学校費2

億6324万7千円、中学校費1億8176万円、公債費は前年度より2億8847万2千円減の、34億4320万8千円が借入金の元利償還金として計上されています。

平成18年度 特別会計 当初予算

●国民健康保険特別会計予算

予算額50億94448万円を賛成多数で可決しました。

歳入は国保税12億9424万円、国庫支出金19億9477万円で、歳出では保険給付費36億346万円、高額療養費は3億9512万円です。

曾於市の国保加入世帯数は1万1426世帯、被保険者数は2万1546人です。

反対意見の中で、国保加入者は農家・自営業者・年金暮らしなど、所得の低い方が多い。所得が高すぎる声がある。減

免申請についても具体的に対応を求めるなどの意見が出されました。

●老人保健特別会計予算

予算額71億1204万円を賛成多数で可決しました。

歳入では支払基金交付金37億2858万円、国庫支出金22億4925万円、県支出金5億6231万円、歳出では医療諸費で71億円程です。

曾於市の75歳以上の老人と65歳以上の寝たきり老人で、被保険者数は8526人です。

反対意見の中で、国は保険制度を改悪してきて

●介護保険特別会計予算

予算額39億1484万5千円を賛成多数で可決しました。

歳入では保険料5億396万円、国庫支出金11億6791万円、支払基金11億7538万円、県支出金4億8008万円、歳出では保険給付費37億5736万円です。

被保険者数は1万4186人です。国20%、県12・5%、市12・5%、支払基金31%、被保険者19%、調整交付金5%で運営します。

反対意見の中で、4月から介護保険料の大幅値上げでお年寄りの生活はますます厳しくなり、ま

いる。お年寄りの負担も2割負担がされてきた。国は本来負担すべき財源を出すべきである。消費も福祉のためと言いながら大企業の減税に消えているところがあるとの意見も出ました。

●公共下水道事業特別会計予算

予算額4億3924万7千円を賛成多数で可決しました。

本事業は、旧末吉町が水質汚染による生活環境と大淀川の水質改善を目的に、平成5年度基本構想、平成7年度基本計画を策定し、平成9年度より公共下水道事業特別会計を設置して事業を推進しております。第1期区域49haを平成15年度末に供用開始し、下水道への加入を推進しております。平成18年度には、第2期区域98haのうち下新地・新地・麓・向江を中心とする12haを供用開始する予定であります。本年度も、汚水幹線及び枝線管渠の詳細設計と工事を実施し、受益地区での下水

た施設介護を受けられない家族も出ているのが実態であるので、制度の充実を求める意見も出ました。

●生活排水処理事業特別会計予算

予算額1億2072万5千円を賛成全員で可決しました。

歳入では分担金及び負担金1306万円、使用料及び手数料1865万円、国庫支出金3229万円、県支出金249万円、歳出では生活排水処理事業費9728万円、総務費1836万円です。

この事業は、財部地区の住民を対象とした、トイレや台所の生活排水を処理する合併浄化槽事業です。10人槽以上の事務所や工場なども事業を取り入れることができ、事業主体は市がおこない住民が負担金と使用料を払うものです。長期的には、市の財政の持ち出しが多くなり、古くなれば修繕費も市の負担になります。当局は、住民の意向調査も行い、10人槽以上の希

道への接続を順次行っていく予定です。

●水道事業会計予算

水道事業費予算5億2345万1千円を賛成全員で可決しました。

本年度は、給水戸数を1万4229戸と想定しています。皆さんから納めていただく水道使用料や、工事代などの水道事業収益は、5億2380万7千円となっています。市民が健康で豊かな生活を支えるうえで、良質かつ安全・安定した水を供給するための施設維持管理費や企業債（借入金）の償還などに使われます。本年度の施設整備は、大隅上水道の八合原揚配水施設改修工事や末吉簡易水道の、石綿管更新事業が計画されています。

望者には早く事業に参加するように努力すべきであるとの意見ができました。

